

□議員名：前田浩司

1 災害に強い安心・安全な学校施設について

論点	長寿命化対策の基本的な考え方について問う。
回答	令和2年度に策定した学校施設整備計画に基づき、耐震基準の状況、築年数、劣化状況などの調査、健全性等の判定を行い、それらを踏まえて長寿命化計画を実施している。損傷が軽微のうちから修繕を行う予防保全型の施設管理も重要と考えている。

論点	多目的トイレの整備状況はどうか。
回答	松原分校を含む小学校18校のうち、16校の管理棟や教室棟に設置している。赤崎小学校と厚狭小学校には設置されていないが、今後、適切な配慮が必要な児童の入学等が認められる場合には、適宜整備する予定である。

論点	バリアフリー対策についてどのように考えているか。
回答	災害時には避難場所として不特定多数の方が利用することも踏まえ、今後、校舎の改築等を行う際には、バリアフリー化の推進を図る。配慮を必要とする児童・生徒が入学する場合は、保護者等の意見をお伺いし、階段昇降機等を設置するなど合理的配慮に努める。

論点	学校体育館への空調整備をどのように進めるのか。
回答	夏場であればスポットクーラー、冬場であればストーブ等で対応したいと考えており、空調設備を設置する考えは今のところない。体育館本体の建て替えや全面的な改修工事に併せ、断熱性能を持つものにしていく必要性は認識している。

論点	学校の危機管理マニュアルの整備状況はどうか。
回答	全ての小中学校でマニュアルを作成し、自然災害や火災、不審者など様々な状況を想定し、学校の特性や地域の要件に応じたものとなっている。不審者の侵入を想定した避難訓練は、適切な対応手順や避難ルートの確認など行っている。今後も見直して改善をしていく。

2 青年の家を含む糸根公園（スマイルエイジングパーク）の今後の整備計

画について

論点	埴生地域の憩いの場所である糸根公園の整備計画の進捗状況はどうか。
回答	令和4年度に基本計画を作成、令和5年度に整備手法に関する検討、また関係者との協議を行った。今年度は、整備する公園の区域を明確にするため、隣接者との境界確認や用地測量業務を行う予定である。

論点	スマイルエイジングの要素を取り入れた機能を持たせるようしているが、他の公園のこれまでの実績をどのように評価しているのか。
回答	これまで、須恵健康公園、江汐公園、寝太郎公園ゆめ広場の3か所設置している。高齢者や小さな子供まで多くの方々に利用していただいており、大変好評だと受け止めている。

論点	基本計画から調査設計に至る過程で変更された部分はあるのか。
回答	市民アンケートやワークショップで出た意見で策定した基本計画の中身については十分評価できる内容であると考えており、あくまで基本計画をベースに公園整備が実現できるよう取り組んでいきたい。特に変更した内容はない。

論点	文化財を活用した新たな観光資源開発と地域振興の推進をどのように考えているのか。
回答	今後、地域に根づいた糸根の松原、赤兼山、和泉式部の墓などの地域資源を、ストーリー性をもたせ、ふるさと文化遺産という登録制度を活用し、市民の皆さんに限らず、多くの方に広く情報を積極的に発信し、多くの方に訪れていただけたらと考えている。

論点	青年の家の管理棟の解体に伴い、収蔵品（保管されている文化財）の新たな保管場所の確保について問う。
回答	本市の歴史を紡ぐ文化財や民族衣装を将来に残すため、重要課題で

あることは十分認識をしている。保管場所の確保は、現時点では未定の状態ではあるが、引き続き、収蔵資料を適正に保管し、糸根公園整備の進捗状況を十分考慮した上で、適切に対処してまいりたい。